

登録コード	L1241600	開講年度	2026	
担当教員	濱崎 友絵	副担当		
授業科目	芸術コミュニケーション発展演習VI			
英文授業名	Art Communication: Advanced Workshop Seminar VI			
授業タイトル				
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 水曜・2時限
講義室	人文311実習室	遠隔授業科目		読替科目
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ			
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】		⇔	異質・多様なものを理解し、寛容かつ多元的に判断することができるようになる。
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。 【開拓力・企画発想能力】		⇔	専門的学力を基盤とし、多様な文化や社会を理解するための力を身につけることができるようになる。
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	本授業は、前期基幹演習で扱った「都市と音楽」「自己表象」という視点を東アジアへと拡張し、日本・韓国・中国の音楽文化を比較検討する。前半では各国の伝統音楽の歴史的形成と社会的背景を学び、後半では現代ポピュラー音楽（J-POP・K-POP等）を取り上げ、都市、国家、メディアとの関係を分析する。文献講読、音源視聴、映像資料分析、歌唱実践も交えながら、各音楽文化の都市・国家・ポピュラー音楽の関係を総合的に検討する。なお本授業は受講生の発表と議論によって展開する。			
授業計画	第1回 ガイダンス／前期の振り返り：「都市と音楽」視点をめぐって 第2回 「東アジア音楽文化」を考える 第3回 中国伝統音楽概観 第4回 韓国伝統音楽の基礎 第5回 日本の伝統音楽 第6回 伝統音楽と国家形成／文化政策 第7回 ポピュラー音楽と都市文化（1）J-POP の成立 第8回 ポピュラー音楽と都市文化（2）K-POP 第9回 ポピュラー音楽と都市文化（3）C-POP 第10回 音楽とアイドル文化 第11回 音楽とソフトパワー（国家戦略と文化輸出） 第12回 楽曲比較分析 第13回 演奏実践 第14回 MV比較分析 第15回 総括討論：東アジア音楽文化の現在、未来、授業アンケート ※授業の進捗状況によって内容に多少の変更が生じる場合がある。			
成績評価の方法	発表（50％）と記録作成（レポート、50％）			
成績評価の基準	授業の目的を理解し活動できていれば「水準にある」、リサーチに積極的にかかわり、課題や問題解決を提示、実施できれば「やや上にある」、リーダーシップを発揮し取り組んでいれば「かなり上にある」、これらをすべて踏まえた上で、自分なりの主体的な活動と思考がともなっていれば「卓越している」と評価する。			
事前事後学習の内容	文献読解および事前調査が必要となる。 授業時間中に各人が発表をおこない、課題や問題点の洗い出しと共有をおこなっていく。			
履修上の注意	なお本講義は、ミーティングなどを含め、週末を含めた授業時間外の作業が求められることがある。その際の交通費等、必要経費は各自の負担となる。 ※グループワークに積極的に関わることが求められる。また担当回を無断欠席した場合は単位は認められない。 ※履修希望学生が多い場合は抽選（ないし選考）をする場合がある。			
質問、相談への対応	授業終了後、随時。来室も可。オフィスアワーは火曜日の12:40～13:20（新棟305）。事前にメールでアポイントを。t-hamazaki@shinshu-u.ac.jp			
教科書	特になし。			
参考書	初回の授業で紹介する。			